

レッツICT

校内研究便り ⑦
平成30年12月10日
研究推進委員

1 第3回研究授業（3年社会）

10月24日（水）に、第3回研究授業が行われました。ご報告遅くなり、申し訳ありません。授業者の西方先生をはじめ、中学年分科会の先生方、ありがとうございました。社会科の「働く人とわたしたちの暮らし」の単元で、ロイロノートスクールによる発表準備の場面を見せていただきました。タブレット端末が240台そろってから初めての授業（ギリギリでしたね）でしたが、社会科の学習を深める有効的な活用方法を協議することができました。

【成果】

- 学習問題を児童の言葉から作成したことで、児童が何を目的として授業に取り組みればよいかも明確になった。
- きっとカードを活用することにより、販売店の工夫を予想し、それを確かめに見学に行くという授業の流れが児童に分かりやすかった。
- 授業の途中で発表計画がよくできている班を全体に共有することで、どんなものを作成すればよいのかを考えながら授業に取り組むことができた。
- ペアで iPad を使用したことで、自然と会話が生まれるとともに、iPad 操作技能を補い合いながら活動に取り組むことができた。
- iPad だけではなく、ワークシートを併用したことで、児童の思考を整理し、発表する上で有効に活用できていた。
- ロイロノート内の「提出」「画面配信」を活用したことで、児童は手元で資料の共有をすることができた。

【課題】

- ▲ 写真に入れる題名は、工夫に限定しなくてもよかった。児童がその写真を活用した理由が分かるような題名にできるとよい。
- ▲ 「自分が店長だったら」という観点で考えさせてもよかった。新学習指導要領では、経済面についても触れているので、単元のあり方を考えることも必要である。

【困ったこと】

- ・ ローマ字入力は、ローマ字を学習したばかりの3年生には難しかった。そのため、3年生は50音入力をしていた。
- ・ キーボード付属だが、3年生以下は入力できないことと、写真を撮る際に重く邪魔になるので、必要ないと感じた。

2 第4回研究授業（6年理科）

11月20日（水）に、第4回研究授業が行われました。授業者の大関先生をはじめ、高学年分科会の先生方、ありがとうございました。理科の「月と太陽」の単元で、月と太陽の表面をインターネットを使って調べました。ロイロノートスクールの資料箱を活用し、情報過多にならない工夫をし、子供たちが意欲的に調べることができました。

【成果】

- 話し合いの形態を2人→4人グループ→全体と工夫したことで、児童が主体的、対話的に活動できた。
- 観察できない内容なので、調べる方法として ICT を使ったことは良かった。さらに図鑑や天体に関する本を教師が用意していたことにより、本からの情報を求めている児童がすすんで活動する姿が見られた。
- 「ロイロノートSchool」内の資料箱に検索サイトを絞って入れておいたことにより、スムーズに調べ学習をすることができた。
- 検索サイトを「NHK for School」内のみとしたことで、情報量を制限することができ、さらにサイトの安全性が守られるので、有効であったといえる。

【課題】

- ▲問題「月と太陽の表面のちがいは何だろう」という言葉を投げかけたところ、児童は結論を書くのに苦労したので、問題の文章表現を再検討する必要がある。
- ▲今後、児童はたくさんの情報の中から情報を精選していく力が必要である。「検索キーワード」を考える力、検索後の情報の中から情報を精選していく力を学校が育てていくべきである。

【困ったこと】

- ・フィルタリングをかけることで安全性は保たれるが、動画や画像が見られなくなる場合がある。
- ・3クラスに2台の保管庫なので、各クラス保管庫を1台ずつ欲しい。
- ・同時に調べ学習を行うと音声聞き取りづらいので、イヤホンがあると好ましい。

3 次回の予定

日時：12月14日（金） 14：20～ 研究全体会
場所：図書室
内容：先日の ICT 活用推進連絡会の報告
高橋純先生のご講演 など